

令和7年度 幼児教育事業の実施状況について

基本施策	名称	月日	参加者・対象	内容
1・2・3・4	幼児教育審議会	第1回 10月27日(月) 第2回 2月24日(火)	幼児教育に関する知識経験者、保幼認小代表、保護者	令和7年度の幼児教育事業計画の報告を行った。 今後の幼児教育振興プログラムに基づく幼児教育事業の取り組みで、保幼小連携・接続の課題について協議・検討を行った。
1・2・3・4	幼児教育研究協議会	第1回 9月29日(月)	保幼認小代表	保幼認小の連携・接続に向けて、アプローチャリキュラムの作成について協議・検討を行った。
		ワーキング 11月17日(月)	保幼認小代表	園と小学校のそれぞれの代表の先生にご参加いただき、ワーキング会議を開催し、アプローチャリキュラム(案)を作成した。
		第2回 12月18日(木)	保幼認小代表	ワーキング会議で作成した(案)に対する協議を行い、アプローチャリキュラムの宗像市のフォーマットが完成した。
1・2・3・4	保育所・幼稚園・認定こども園 園長会	第1回 5月12日(月)	保幼認の園長	幼児教育事業報告及び幼児教育事業計画について説明を行った。 各課からのお知らせの場を設定し、説明や資料を配布し周知を行った。 教育総務課 教育支援室からは、就学相談の申込や流れについて、昨年度までの変更点等の説明があった。
		第2回 11月7日(金)	保幼認の園長	幼児教育事業の進捗について報告を行った。 男女共同参画推進センター「ゆい」と共催講座を実施した。陽かり助産院院長の光橋幸恵氏による、「生命の安全教育～性教育について～」の講義を聞き、性教育について理解を深めることができた。
2・4	保育所・幼稚園・認定こども園 小学校・義務教育学校連絡会	6月12日(木)	保育士・幼稚園教諭・保育教諭・小学校教諭 (49名参加)	学校と保育園、幼稚園、認定こども園が入学後の子どもの様子を情報共有する場を設定し実施した。 今年度は、事前に共有したい内容を聞き取り、その内容を園と学校に送付した。事前に聞きたい内容を知らせることで、当日の情報交換会がとて有意義な時間となった。 また、今年度も、保育協会から差し入れをいただきカフェコーナーを設け、温かい雰囲気の中、リラックスして情報交換を行うことができた。 情報交換を通し、幼児教育と小学校教育との連携・接続の強化を図ることができた。
2	幼児教育と小学校教育の円滑な 接続に関する研修会	第1回 6月25日(水)	保育士・幼稚園教諭・保育教諭・小学校教諭 (中止)	福岡教育大学附属幼稚園での研修会は、感染症を伴う教員等の体調不良のため中止した。 代替研修として、福岡教育大学附属幼稚園幼児教育公開研究会(11月8日実施)のオンデマンド視聴ができるよう案内した。希望施設は、9施設。(保育所:7園、幼稚園:1園、小学校:1校)
		第2回 9月9日(火)	保幼認の主任と小学校の主任教諭 (42名参加)	幼児教育アドバイザーであり、福津市神興幼稚園の現任教諭でもある吉迫務氏を講師に迎え、「幼児期の大切な学びを小学校教育につなげるために」というテーマの講義とグループ協議を実施した。 参加者の先生からは、「アプローチャリキュラムがとてわかりやすく、自園でも活用したい」という感想があった。 幼児が活動している動画を見ながら、小学校へのつながりについてグループワークを行った。 また、福津市のアプローチャリキュラムやスタートカリキュラムを参考に、子どもの育ちの連続性を理解しながら、幼児教育と小学校教育の充実を図ることができた。
		第3回 1月30日(金)	保育士・幼稚園教諭・保育教諭・小学校教諭 (32名参加)	東郷信愛幼稚園で、保育参観とグループ協議を実施した。 宗像市教育委員会社会教育主事から参観前に「参観の視点について」説明を聞くことで、とて有意義なグループワークとなった。 参加者の先生からは、「先生方の色々な角度からの感想を交換でき、良い学びとなった」という感想があった。 園と小学校からそれぞれ持参したアプローチャリキュラムとスタートカリキュラムを共有し、子どもの姿にあてはめながら、相互理解を深めることができた。
1・4	幼児教育研修会	第1回 7月28日(月)	加配職員・保育士・幼稚園教諭・保育教諭 (22名参加)	子育て・発達支援と一む「プレジュー」の新塘 元哉 氏を講師に迎え、「保育活動の中で取り組める発達支援と配慮について」というテーマの講義とグループ協議を実施した。 参加された先生方からは「早期の支援が自己肯定感の育ちにつながる事が印象に残った」「その子の興味、関心を知り、思いを受け取ることの大切さを改めて感じた」という感想があった。 事前アンケートの質問や困り感について、新塘先生から具体的な対応の仕方や配慮のポイントをご回答いただき、子どもの対応について理解を深めることができた。
1		第2回 8月22日(金)	保育士・幼稚園教諭・保育教諭 (25名参加)	幼児教育専門家 熊丸みつ子氏を講師に迎え、「私たちの笑顔は子どもたちにとっての精神安定剤！」というテーマの講義とグループ協議を実施した。参加者からは、「子どもたちも自分たちも幸せになるために生まれてきたと聞き本当に感動した」「子どもたちに幸せと笑顔と安らぎを届けることができるよう、たくさんハグしたい」という感想があり、保育者の資質及び専門性の向上を図る研修となった。
4	発達支援コーディネーター研修会	第1回 5月14日(水)	園長、発達支援コーディネーター (40名参加)	発達支援係から、市の取り組みと発達支援コーディネーターに求める役割について、説明を行い、引き続き、市との連携について協力をお願いした。
		第2回 2月6日(金)	発達支援コーディネーター (23名参加)	発達支援コーディネーターが、保育の現場で活かせる知識の習得の為に、福岡県立大学 教授 江上千代美氏を講師に迎え「かんしゃくのかかり方」というテーマでグループワークを交えての講義と、のぞみ園の言語聴覚士と作業療法士から実際に使っている保育教材について紹介をした。参加した先生からは、「すぐに活用できる内容だった」「保護者への説明で活用したい」という声があり、有意義な研修となった。
1・2・3・4	子どもの安全に関する研修会	第1回 5月30日(金)	市内小中学校、幼保園、障害児福祉サービス事業所、 宗像児童相談所等関係職員、市職員等 (46名参加)	第1回 福岡県立大学准教授奥村氏を講師に迎え、子どもの所属機関の役割と連携をテーマに、関係機関の効果的な支援について理解を深めることができた。
		第2回 7月24日(木)	市内小中学校、幼保園、障害児福祉サービス事業所、 宗像児童相談所等関係職員、市職員等 (26名参加)	第2回 福岡地方検察庁検事佐田氏、福岡児童相談所弁護士一宮氏らを講師に迎え、子どもから被害を打ち明けられた時の支援者の対応についての講義を実施した。
		第3回 10月23日(木)	子育て世帯、市内小中学校、幼保園、障害児福祉サービス事業所、 宗像児童相談所等関係職員、市職員等 (57名参加)	第3回 幼児教育専門家の熊丸みつ子氏を講師に迎え、「こどもたちが生きる力の土台を身につけるために」というテーマで、子育て世帯の市民の参加も多く、アンケートでは、「話を聞いて良かった」、「気持ち良かった」といった感想があった。
3	家庭教育学級支援事業	第1回 10月31日(金)	市内保育所・幼稚園・認定こども園、 市立学校PTAコミュニティ運営協議会、市内子育て支援関係団体 第1回 参加者:23名	第1回講座は、講師に教育サポート室エールの牛島昌哉氏を迎え「家庭と地域でひろげよう 子どもの可能性」というテーマで、体験型のワークショップ実施した。子どもに体験活動をさせた後、体験だけ活動になっていませんか?という印象的な言葉があり、体験後に家庭での振り返ることの重要性などをワークショップを通して学んだ。受講者からは「体験活動の重要性を地域の方々に学ぶ機会が貴重だった。」「や「座って聞く講座よりとてわかりやすく、地域の方と知り合えた」と満足度の高いアンケート結果となった。今回、はじめての体験型のワークショップということで参加者は15名ほどの少人数を予定していたが、昨年度受講した修了生等が興味をもち、定員を超えた。
		第2回 2月28日(土)	市内保育所・幼稚園・認定こども園、 市立学校PTAコミュニティ運営協議会、市内子育て支援関係団体 第2回 参加者:26名	第2回講座講師:賀来元彦氏(福岡教育事務所主任社会教育主事) テーマ:子どもとデジタルメディアのつきあい方～SNS・ゲーム・動画～
連携事業	連携事業			
保育の日	保育の日	4、8月	保育士・幼稚園教諭・保育教諭・小学校教諭	「保育の日」の実施園は20園。4月と8月の訪問人数の合計は101名。 令和6年度からは、1年生の担任が入学式の前に園の様子を見られるよう、4月に実施している。 今年度は、8月の保育の日も4月同様に3日間にしぼって実施することで、訪問人数が増加した。 参加された先生からは、「実際に園児の様子を見ることができてよかった」という声があった。

基本施策1 保育者(保育所保育士、幼稚園・認定こども園等教員)の資質及び専門性の向上

基本施策2 幼児教育と小学校教育との連携・接続の強化

基本施策3 家庭の教育力の向上

基本施策4 配慮が必要な子どもに対する支援体制の充実